

# 食品の安全性に関するアンケート調査結果

生活衛生課

## 1 調査目的

県では、県民の皆さまの健康で安心できる食生活を確保するため、「岐阜県食安全基本計画」に基づき、必要な施策を実施しています。

このことについて、県民の皆さまの意向を把握し、今後の施策の基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

## 2 調査対象等

調査対象：県政モニター833人(うちインターネットモニター505人)

調査方法：郵送及びインターネット

調査期間：令和2年12月3日～12月21日

回収結果：577人(回収率69.3%)

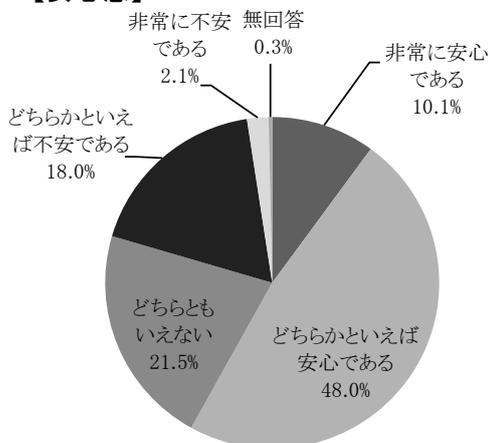
構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

そのため、合計が100%にならない場合があります。

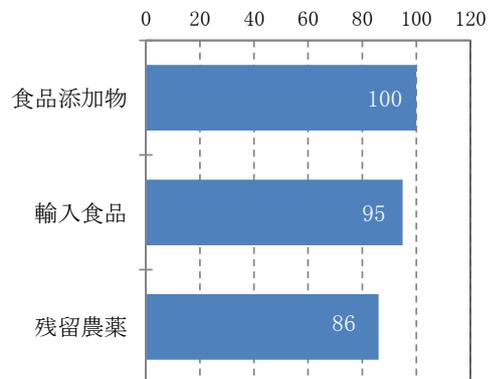
## 3 結果概要

### ○ 食品への安心感について

#### 【安心感】

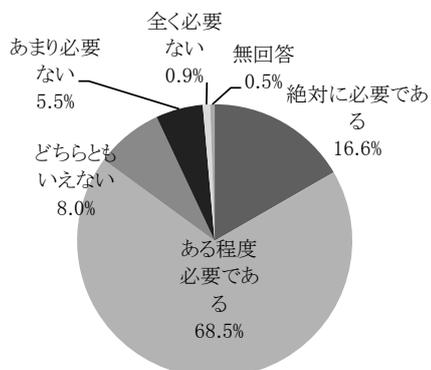


#### 【不安に思う事項(上位3つ)】

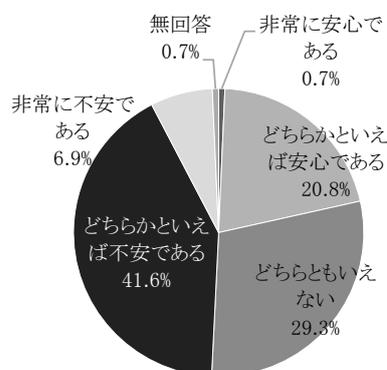


### ○ 輸入食品について

#### 【必要性】



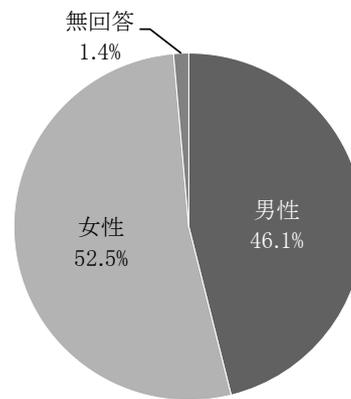
#### 【安心感】



#### 4 回答者属性

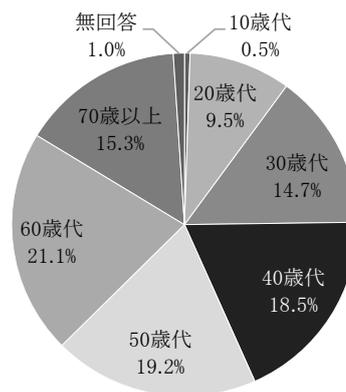
##### (1) 性別

	人数	割合
男性	266	46.1%
女性	303	52.5%
無回答	8	1.4%
計	577	100.0%



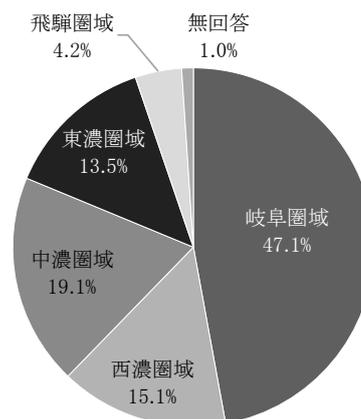
##### (2) 年代別

	人数	割合
10歳代	3	0.5%
20歳代	55	9.5%
30歳代	85	14.7%
40歳代	107	18.5%
50歳代	111	19.2%
60歳代	122	21.1%
70歳以上	88	15.3%
無回答	6	1.0%
計	577	100.0%



##### (3) 居住圏域別

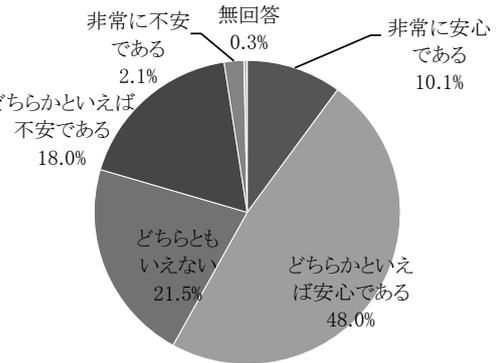
	人数	割合
岐阜圏域	272	47.1%
西濃圏域	87	15.1%
中濃圏域	110	19.1%
東濃圏域	78	13.5%
飛騨圏域	24	4.2%
無回答	6	1.0%
計	577	100.0%



## 5 調査結果

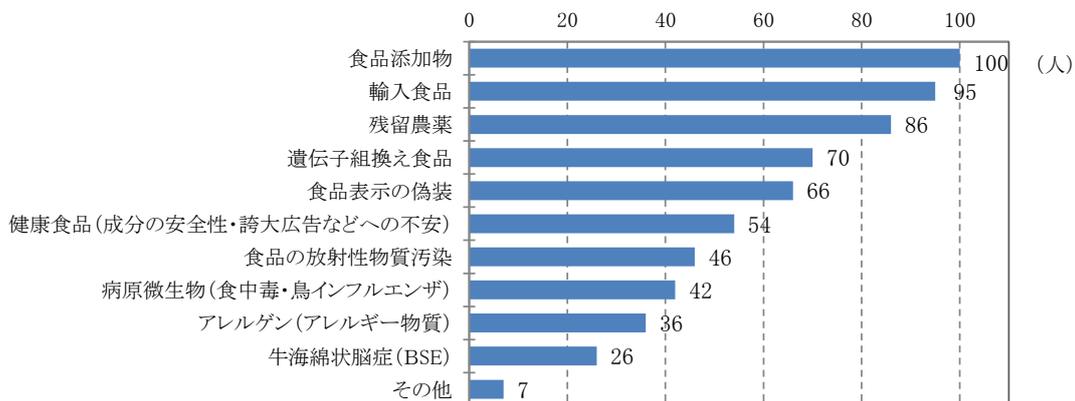
問1 あなたは、私たちが普段食べている食品の安全性について、どのように思っていますか。

	人数	割合
非常に安心である	58	10.1%
どちらかといえば安心である	277	48.0%
どちらともいえない	124	21.5%
どちらかといえば不安である	104	18.0%
非常に不安である	12	2.1%
無回答	2	0.3%
計	577	100.0%



問2 (問1で「どちらかといえば不安である」または「非常に不安である」と答えた方) 私たちが普段食べている食品に、あなたが不安を感じていることは何ですか。(複数回答) 回答者 116 人

	回答数	割合
食品添加物	100	86.2%
輸入食品	95	81.9%
残留農薬	86	74.1%
遺伝子組換え食品	70	60.3%
食品表示の偽装	66	56.9%
健康食品(成分の安全性・誇大広告などへの不安)	54	46.6%
食品の放射性物質汚染	46	39.7%
病原微生物(食中毒・鳥インフルエンザ)	42	36.2%
アレルゲン(アレルギー物質)	36	31.0%
牛海綿状脳症(BSE)	26	22.4%
その他	7	6.0%
計	628	-

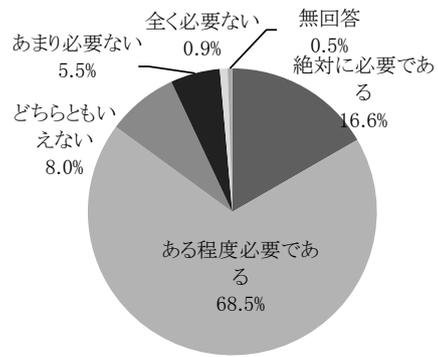


「その他」のうち主なもの

- ・米や野菜などに農薬、除草剤が使用されている。
- ・トランス脂肪酸

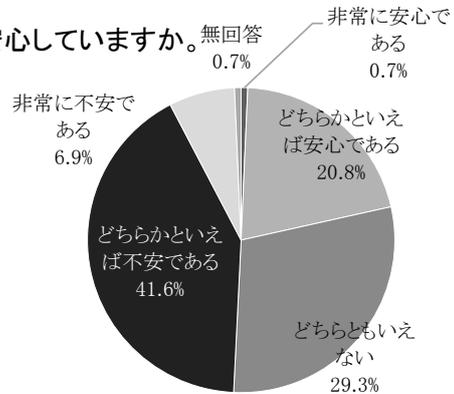
問3 あなたは、輸入食品の必要性について、どのように思っていますか。

	人数	割合
絶対に必要である	96	16.6%
ある程度必要である	395	68.5%
どちらともいえない	46	8.0%
あまり必要ない	32	5.5%
全く必要ない	5	0.9%
無回答	3	0.5%
計	577	100.0%



問4 あなたは、輸入食品について、どの程度安心していますか。

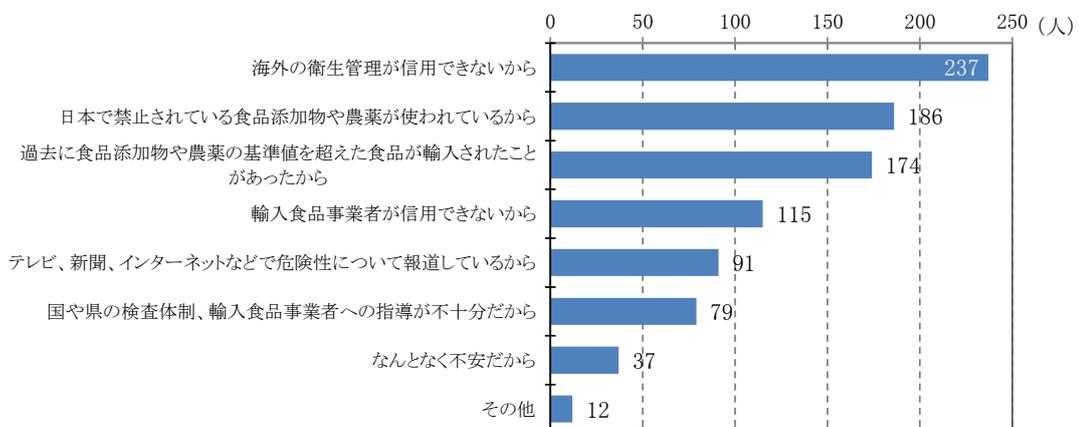
	人数	割合
非常に安心である	4	0.7%
どちらかといえば安心である	120	20.8%
どちらともいえない	169	29.3%
どちらかといえば不安である	240	41.6%
非常に不安である	40	6.9%
無回答	4	0.7%
計	577	100.0%



問5 (問4で「どちらかといえば不安である」または「非常に不安である」と答えた方) あなたが、輸入食品に不安を感じている理由は何ですか。

(複数回答) 回答者 280人

	回答数	割合
海外の衛生管理が信用できないから	237	84.6%
日本で禁止されている食品添加物や農薬が使われているから	186	66.4%
過去に食品添加物や農薬の基準値を超えた食品が輸入されたことがあったから	174	62.1%
輸入食品事業者が信用できないから	115	41.1%
テレビ、新聞、インターネットなどで危険性について報道しているから	91	32.5%
国や県の検査体制、輸入食品事業者への指導が不十分だから	79	28.2%
なんとなく不安だから	37	13.2%
その他	12	4.3%
計	931	-



「その他」のうち主なもの

- ・ 遺伝子組み換え食品、残留農薬が気になるため。
- ・ ポストハーベストなど、原産国では認可外のものが、日本に輸入するためには使われているから。

問6 その他、食品の安全に関する県の施策に対して、ご意見ご感想などございましたら、お聞かせください。(主な意見)

#### ○県の食品安全施策について

- ・ 県の取組みについての定期的な広報活動の展開などに期待。
- ・ 県独自にでも食品の安全基準をより厳格化して安心して食品を購入できるように取り組んでほしい。
- ・ 個人消費者では分からないこと、見つけにくいことが多い。食品安全基本計画の推進、実施、進行は欠かせないものであり、安心している。
- ・ 県としてどのような対策をしているのか知らない。
- ・ 食品の残留農薬や食品添加物などについての監視、管理、指導を一層厳重に行ってほしい。
- ・ 地産地消を促すイベントや、食育を通して子供たちが地産地消を、理解し推進できるようにしてほしい。

#### ○輸入食品について

- ・ 輸入食品でも、安心で安価なものも多くあると思う。もっと多種多様なものに目を向けるべき。
- ・ 輸入に頼らなければ、手に入らないものもあるので、検査がしっかりしていればよい。
- ・ 農業従事者が高齢化し、止むなく縮小したり、廃業されるのを見ている。後継者育成等対策が取られることを願います。従って、輸入食品の占める割合も減り、ひいては食への安全が高まる。
- ・ 輸入物は安いというメリットがあるが、やはり不安はあり、基本買わないようにしている。時と場合により買い分けている。自給率の低さからいったら仕方ない現状であろうか。県では、地物、地産地消を進めている印象があり、スーパーでも地域の方が作った野菜等のコーナーを多く見かけるようになった。顔が見えるものというのは、やはり安心。
- ・ 輸入によって国内の業者や生産者が不利になると輸入品を選択するしかなくなるので困る。

#### ○その他

- ・ 食品表示を見て、選ぶようにしている。
- ・ 食品の安全性もだが、少子化に伴い次世代を担う人が少なく、なるべく自分たちの手で作れば良いと思う。
- ・ 全ての食品を国内でまかなえれば、それにこした事はないと思う。やはり日本国内生産の方が安心。輸入にしる国内生産にしる、食品表示を明確に偽りのないものにしていただく事が重要。消費者は、その表示を信じるしかない。
- ・ 食品のトレーサビリティが見えずらく不安。